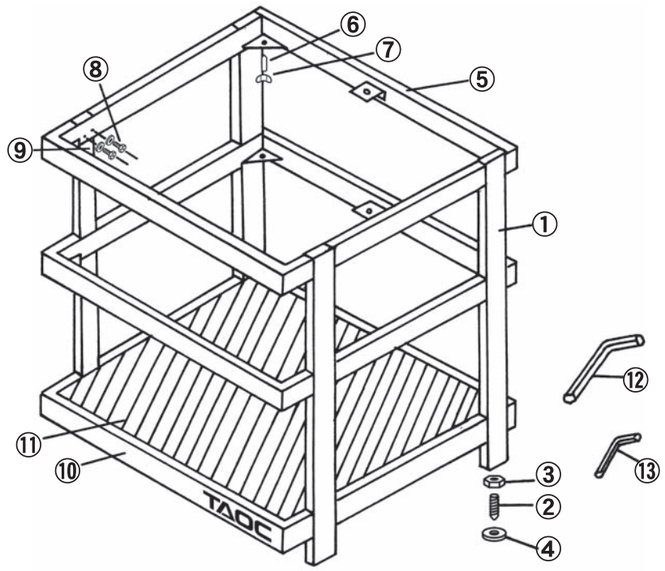
TAOC AVラック SSRシリーズ 取扱説明書

このたびは、当社のAVラックをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。組み立ての前に本取扱説明書をよく読んで記載事項にしたがって正しく組み立てを行なってください。（組み立て後も本書は大切に保管してください。）

⚠注意

本製品は重量物であり、スパイク（ピン）が装着されますので、組み立て時、運搬時に落としたり、引きずったりすることのないよう十分注意してください。重大なケガをする恐れがあります。

〔１〕各部の名称と数量（下図はSSR-3の例です）

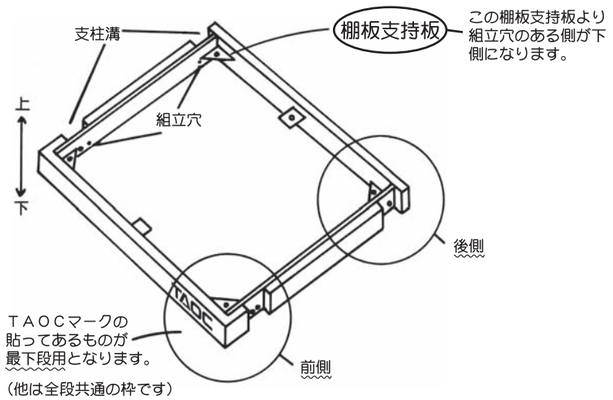


⑴ 組み立て前にものさしを準備し、スパイク高さの調整等に使用してください。また、スパナ(13ミリ)があると脚スパイク固定ナットを締め付ける時に便利です。

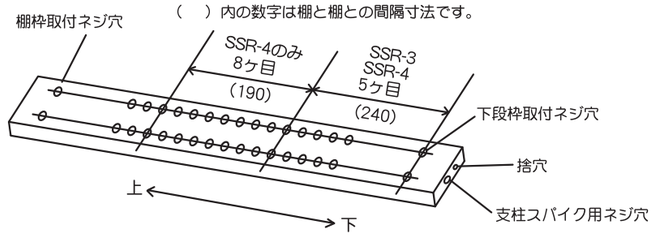
⑵ 上図と下表により、各部品の数量をご確認ください。

No.	名称＼形式	SSR-4	SSR-3	SSR-2
①	支柱	4	4	4
②	支柱支持スパイク(M８)	4	4	4
③	支柱スパイク固定ナット(M８)	4	4	4
④	支柱スパイクプレート	4	4	4
⑤	棚枠(上段用)	3	2	1
⑥	棚板支持スパイク(M６)	24	18	12
⑦	棚板スパイク固定ナット(M６)	24	18	12
⑧	六角穴付ボルト(M６)	32	24	16
⑨	スプリングワッシャー	32	24	16
⑩	棚枠(最下段用)	1	1	1
⑪	棚板	4	3	2
⑫	六角レンチ(太)	1	1	1
⑬	六角レンチ(細)	1	1	1

〔２〕棚枠の上下、前後・上下段の見分けかた



〔３〕支柱の上下の見分けかたと棚枠標準取付位置



㊟:⑴ ４本の支柱はどの位置でも使用可能です。

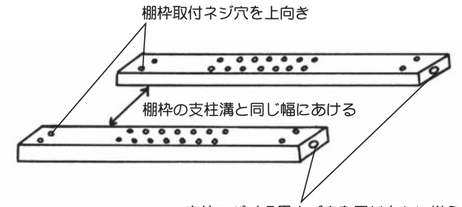
⑵ SSR－3、SSR－4の棚の間隔は30㎜ピッチで変えられます。上図の標準取付位置を参考にしてお好みの棚間寸法を設定してください。

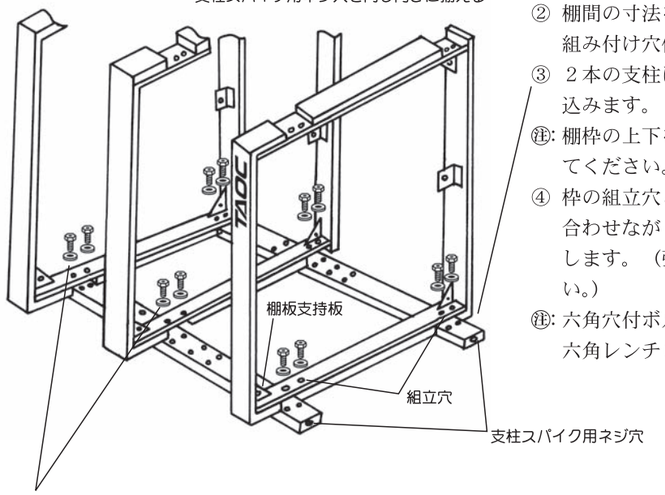
〔４〕組み立て方法

⚠注意

・本ラックの組み立ては、平坦な床面上で行い、組み立て作業を行う際には、身体上への落下、倒れには十分注意してください。重大なケガをする恐れがあります。
また、スパイクを組み付けるときには、手などを引っかくことのないように、取り扱いには十分注意してください。
・２人での作業をおすすめします。
・床等のキズ防止として、床面に毛布等の大判の柔らかい布を敷いて、その上で組み立てることをおすすめします。

（１）棚枠と支柱の組み付け





① 床面に支柱２本を並べて置きます。

㊟: 棚枠取付ネジ穴を上に向け、支柱スパイク用ネジ穴を同じ向きに揃えます。

② 棚間の寸法を〔３〕を参考にして決め、組み付け穴位置を確認します。

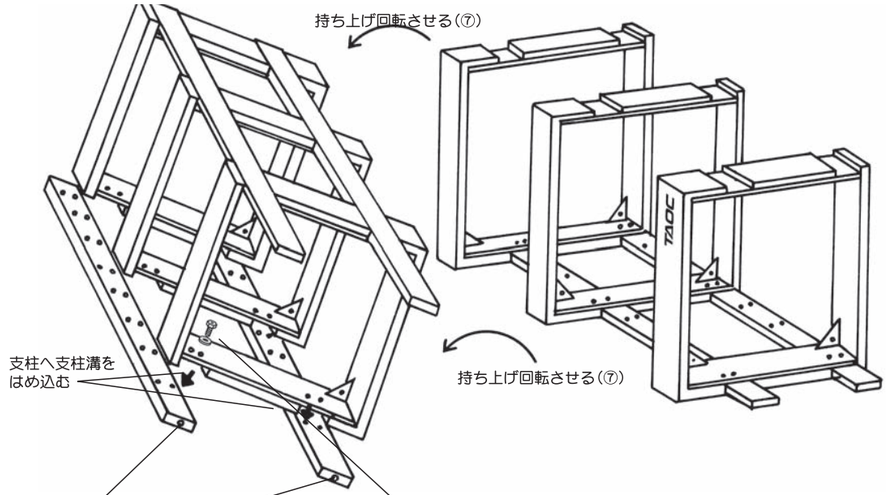
③ ２本の支柱に最下段枠の支柱溝をはめ込みます。

㊟: 棚枠の上下を間違えないように注意してください。

④ 枠の組立穴と支柱の棚枠取付ネジ穴を合わせながら六角穴付ボルトで仮止めします。（強く締め付けないでください。）

㊟: 六角穴付ボルトが回しにくい場合は、六角レンチ(太)を使ってください。

⑤ 棚枠(上段用)を③、④と同じ要領で仮止めします。



⑥ 全ての枠の仮止めが終わったら床面に残り２本の支柱を①と同じ要領で置きます。

⑦ 半組み立てしたラックを持ち上げ、ひっくり返しながら床面に並べた２本の支柱へ半組み立ての支柱溝を一気にはめ込みます。

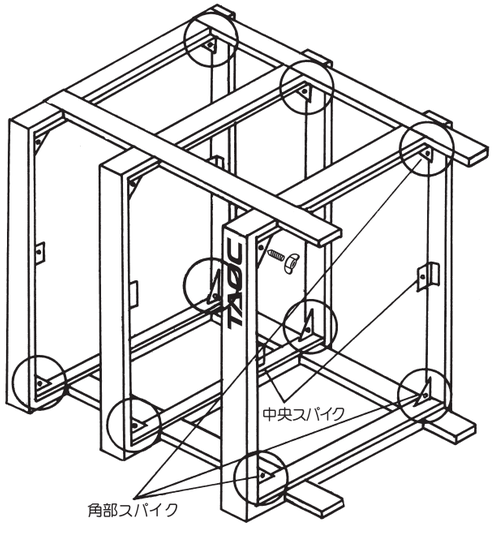
㊟: 本体を回転させる時には、本体を引きずらないように注意してください。床等にキズを付ける可能性があります。２人での作業をおすすめします。

⑧ 支柱の組み付け位置を②と同じ要領で確認し、④と同じ要領で仮止めします。

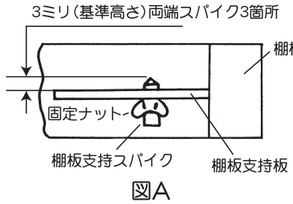
⑨ 全ての箇所の仮止めが終わったら六角レンチ(太)を使って、仮止めした全箇所の六角穴付ボルトを締め付けます。

（裏面に続く）

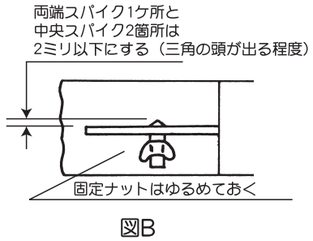
（２）棚板支持スパイクの組み付け



① 本体を横向きにします。
② 棚板支持板全箇所に棚板支持スパイクを組み付けます。
㊟:スパイクが回しにくい場合には六角レンチ(細)を使ってください。
③ 棚板支持スパイクに固定用ナットを仮止めします。
④ ⒶⒷⒸ部位置(1枠当り角部の3ケ所)は図Ａのようにスパイクを基準高さに設定し、固定用ナットでスパイクを固定します。
⑤ 棚枠(上段用)も④と同様に○部位置のスパイクを基準高さに設定し、固定用ナットでスパイクを固定します。
⑥ Ⓓ部のスパイク高さは図Ｂのように１ミリ程度短くしておきます。固定用ナットはゆるめておきます。

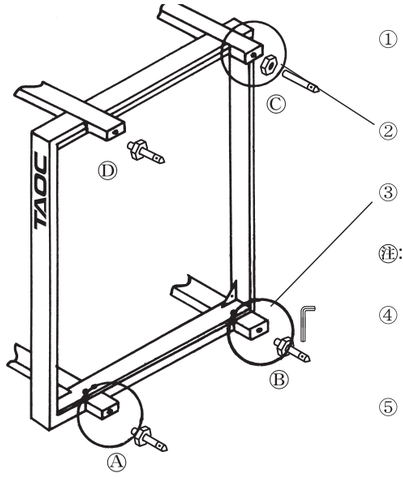


図A

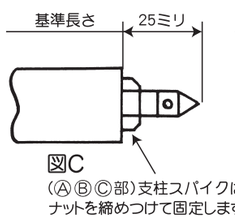


図B

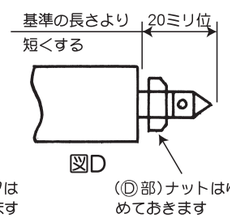
（３）支柱支持スパイクの組み付け



① 棚板支持スパイクの組み付けが終わったら、本体は寝かせたままにしておきます。
② 支柱支持スパイクに固定用ナットを組み付けます。
③ 支柱スパイク用ネジ穴にスパイクを組み付けます。
㊟: スパイクが回しにくい場合は六角レンチ(細)を使ってください。
④ ⒶⒷⒸ部位置３ケ所は図Ｃのようにスパイクを基準長さに設定し、固定用ナットでスパイクを固定します。
⑤ Ⓓ部は図Ｄのようにスパイクを基準高さより短くし、固定用ナットはゆるめておきます。

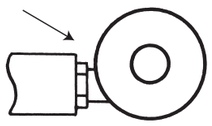


図C
(ⒶⒷⒸ部)支柱スパイクはナットを締めつけて固定します

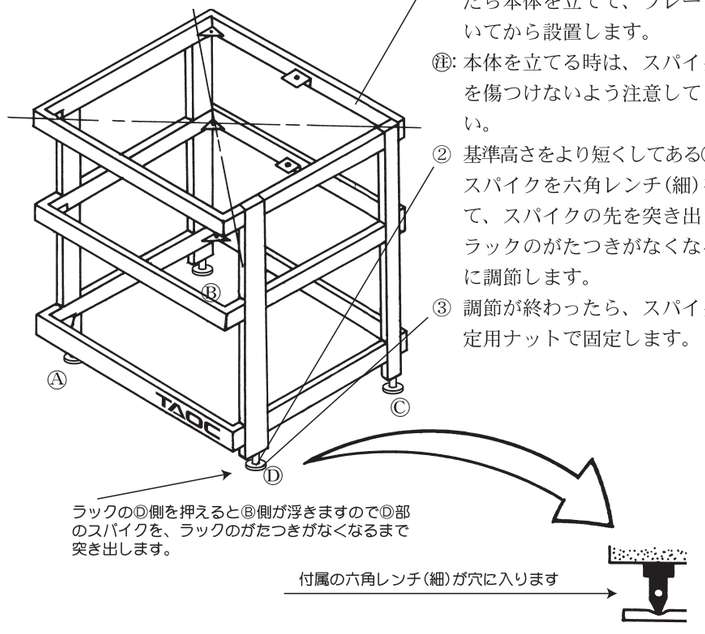


図D
(Ⓓ部)ナットはゆるめておきます

㊟:オプションのキャスター(CS-120)を取りつける場合はスパイクと固定用ナットは使用しません。キャスターのネジを回らなくなるまで締め付けます。

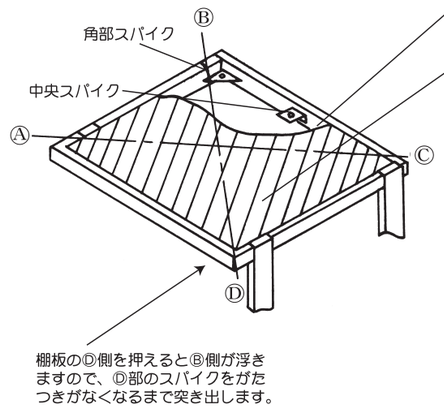


（４）支柱スパイクの調節

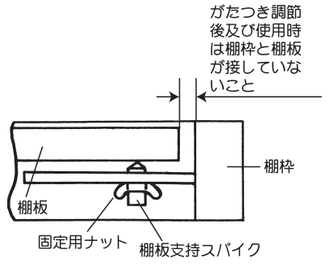


① 支柱スパイクの組み付けが終わったら本体を立てて、プレートを敷いてから設置します。
㊟: 本体を立てる時は、スパイクで床を傷つけないよう注意してください。
② 基準高さをより短くしてあるⒹ部のスパイクを六角レンチ(細)を使って、スパイクの先を突き出し、ラックのがたつきがなくなるように調節します。
③ 調節が終わったら、スパイクを固定用ナットで固定します。

（５）棚板支持スパイクの調節



① 支柱スパイクの調節が終わったら棚板を枠の中へ入れます。
② 角部スパイクの中で棚板支持スパイクの固定していないⒹ部をスパイクの先を突き出して、がたつきを調節します。
③ ②の調節が終わったら固定用ナットで、スパイクを固定します。
④ 中央スパイク(１枠当り２ケ所)をスパイクの先が棚板に当たるまで突き出し、固定用ナットでスパイクを固定します。
⑤ 全段、全て調節が終わったら棚枠と棚板が接していないようにします。



〔５〕使用上の注意

(1) 本機はＡＶ機器収納用のラックです。他のものへの利用はさけてください。
(2) 本機は重量物であり、スパイク（ピン）が装着されますので、取り扱いには十分注意してください。
(3) 本機は水平でしっかりとした床に設置するものとし、不安定な場所には設置しないでください。
(4) 本機を倒さないように注意してください。
(5) ＡＶ機器を載せたまま移動させることは危険ですのでしないでください。
(6) ＡＶ機器の収納は、下段から順に行ってください。重量のある機器を上段から収納すると、安定性が悪くなり転倒する恐れがあります。
(7) 本機の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使わないでください。
(8) キャスターは純正オプション(ＣＳ－120)以外は使用しないでください。

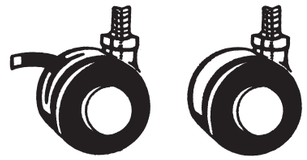
〔６〕TAOC AVラックSSRシリーズの特長

(1) 本ラックの棚板は、鋳鉄粉の芯を高密度パーティクルボードでサンドイッチし、表面をメラミン化粧板で仕上げていますので、高剛性・高比重で振動減衰性に優れています。
(2) 棚板は全段スパイク支持方式を採用しています。
(3) ラックの支柱部もスパイク支持方式を採用していますので、床など外部からの振動を抑制します。
(4) 本ラックはオープンシェルフ構造の採用により、前後左右が解放されており、音がこもらず、放熱効果も優れています。
(5) 棚の間隔は30㎜ピッチで変えられます。(ＳＳＲ－２は除く)

〔７〕純正オプション

(1) キャスター
ＣＳ－120

※キャスターをご利用になる際は、この純正オプション以外はお使いにならないでください。



ストッパー付・ストッパーなし
各２個１セット

※本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製造元 アイシン高丘株式会社
〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1番地
TEL.0565-54-1382　FAX.0565-54-1254

発売元 ハヤミ工産株式会社
■東京 TEL.03-3664-2484　■大阪 TEL.06-6535-3450
■仙台 TEL.022-262-8939　■名古屋 TEL.052-339-2291
■滋賀 TEL.0749-82-4334　■福岡 TEL.092-281-7838